



# 現場レポート

シドニー事務所

## オーストラリア姉妹都市協会 2023 年ナショナルカンファレンス ～世界をつなぐ姉妹都市～

(一財) 自治体国際化協会シドニー事務所 所長補佐 太田 秀明 (神奈川県小田原市派遣)  
所長補佐 國崎 麗子 (福岡県派遣)

### 日本とオーストラリアの姉妹都市

現在、日本とオーストラリアとの間には、州と都府県間における6つの姉妹都市を含む108の姉妹都市があります。オーストラリア側から見ると、海外との姉妹都市提携数は日本が世界で一番多く、日本側から見ると、オーストラリアとの姉妹都市提携数は、米国、中国、韓国に続く第4位です。

姉妹都市交流の内容は多岐にわたり、教育、文化、スポーツ、経済など、それぞれの自治体で特色を活かした交流が行われています。

コロナ禍においては、オンラインを活用した姉妹都市交流を行う自治体も多数見られました。2022年に日本とオーストラリア両国間において、人の往来が再開したことで、2023年からは姉妹都市交流もオンラインでの交流に加え、自治体の首長・議員や市民派遣団の相互訪問など、対面での交流が戻ってきています。

### オーストラリア姉妹都市協会の概要

「オーストラリア姉妹都市協会 (Sister Cities Australia, SCA)」は、国内外に姉妹都市関係をもつオーストラリアの州や自治体を代表する組織で、姉妹都市交流を促進することを目的として活動を行っています。姉妹都市間の教育、文化、経済などの交流の場を提供し、友情、協力、理解を促進することも目的としています。また、オーストラリアの自治体と、姉妹都市関係を求める国内外の自治体のマッチングなどを行っています。

クレアシドニー事務所は長きにわたり、SCAと連携して、姉妹都市活動を行う日本とオーストラリアの自治体への支援を行っています。



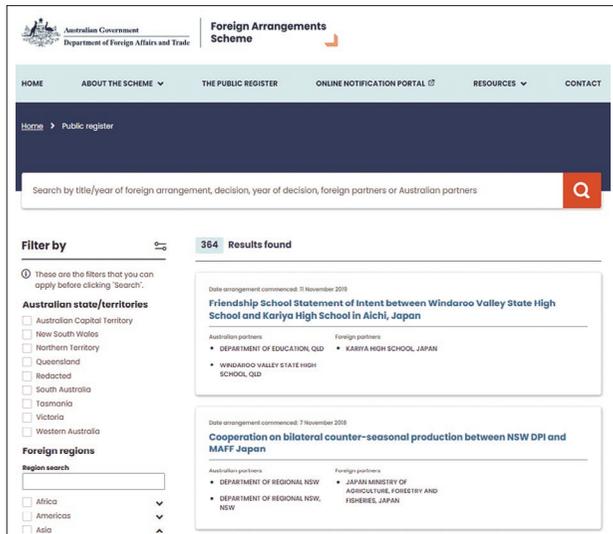
SCA 役員との記念写真

### 4年ぶりの対面でのカンファレンス開催

2023年10月12日、ビクトリア州ウィンダム市で、SCA ナショナルカンファレンスが4年ぶりに対面で開催され、自治体や姉妹都市委員会などから100名を超える関係者が出席しました。今回のカンファレンスのテーマは「世界をつなぐ姉妹都市 (Sister Cities - Linking the World Together)」で、オーストラリアのみならず、ニュージーランド、米国、イタリア、中国の政府や姉妹都市関係機関の代表も参加しました。カンファレンスでは、姉妹都市交流の意義や交流の好事例などについて、プレゼンテーションが行われました。

午前中は、SCA 会長やウィンダム市長のあいさつの後、在メルボルンの米国総領事館や日本国総領事館、イタリア総領事館など各国政府機関の代表者によるスピーチがありました。その後、オーストラリア外務貿易省職員から2020年に施行された「外交関係法」についての紹介がありました。同法は州、準州、自治体、国公立大学などが外国政府などと締結しようとする取り決めについて、連邦外務大臣への通知を義務付けています。同大臣は連邦の外交政策に合致していないと判断した場

合、当該取り決めに無効とする権限を有しています。対象となる取り決めには友好姉妹都市や学校交流などの内容も含まれ、通知された取り決めは締結後同省のホームページ上で公開されます。



オーストラリア外務貿易省ホームページ上で公開されている取り決め

ニュージーランド姉妹都市協会の職員からは、どのように若者を姉妹都市交流に引き込むかについて発表が行われ、ホームページの充実や SNS の活用によるプレゼンスの拡大、若者に対し姉妹都市交流に関わることで得られる経験やスキルを伝えることの重要性が説明されました。

2025年3月に開催されるメルボルン大阪ダブルハンドヨットレース 2025 の会長からは、姉妹都市関係を契機とし、1987年から継続開催している国際イベントであり、同じ年に大阪万博開催のタイミングと重なることから、世界中から参加希望が寄せられていることが伝えられました。

王立メルボルン工科大学の Xueli (Charlie) Huang 氏は自身の研究「日本とオーストラリアの自治体の協力：国際的な参加を通じて地域社会を豊かにする」について説明し、両国の自治体が姉妹都市関係の強みを「学生交流の機会創出」や「異文化交流」にあると考えていることや、姉妹都市関係継続の成功要因として両国の自治体から最も挙げられたものは、オーストラリアでは「姉妹都市からの支援」であり、日本では「両国間による継続的な活動」であることなど、両国間の意識の違いについても取り上げていました。

午前の部の最後には、2023年SCA ナショナルアワー

の表彰式が執り行われました。コロナ禍においても静岡県裾野市とのオンライン交流を続け、2022年に姉妹都市提携40周年を迎えたビクトリア州フランクトン市、2022年に開催した「The Darwin International Virtual Trade Show 2022」の取り組みを評価された北部準州ダーウィン市などが表彰されました。

午後は、元ビクトリア州議会議長や元ビクトリア州首相など、州関係者による姉妹都市交流の意義や効果についての講演のほか、ウィンダム市やニューサウスウェールズ州ブラックタウン市の関係者による事例発表がありました。



ナショナルカンファレンスの様子

昨今、オーストラリアの自治体関係者から、姉妹都市交流に経済的効果を求める声や自治体の方針を聞いていましたが、今回の講演は、歴史や経験、知識の共有、人々の交流こそ姉妹都市交流の意義であるという内容も多く、大変印象深いものでした。

## 姉妹都市関係者とのネットワーク構築

カンファレンスの最中、クリアシドニー事務所は、会場内にブースを設け、姉妹都市自治体の PR やクリアで行っている自治体への活動支援の紹介を行いました。来訪者からは「クリアの活動に興味がある」「日本とオーストラリア間の姉妹都市交流の好事例を教えてください」といった質問が多くありました。多くのカンファレンス参加者と意見交換を行い、新たなネットワークを構築することができ、今回のカンファレンス参加は、大変貴重な機会となりました。

クリアシドニー事務所は、今後も SCA をはじめとする姉妹都市関係者と連携して、日本とオーストラリアの自治体の姉妹都市交流を支援してまいります。